

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課 19学校教育課

<b>Plan</b>	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	16003	事務事業コード	1930
事務事業名	中学校総合学習支援事業			開始年度	平成18	終了年度	未定	
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	佐渡市学校教育支援事業補助金交付要綱		
将来ビジョン	5. 佐渡活性化のための人材の育成・確保 (1)次世代を担う人材育成					H25: 重点●政策○	-	
H26教育行政方針	【学校教育の推進】 3. キャリア教育・佐渡学の充実					H26: 重点●政策○	●	
H27教育行政方針	【学校教育の推進】 2. 郷土を愛し、夢と誇りをもつ教育の充実 生きがいを見付け、自立を目指す教育の充実					H27: 重点●政策○	○	
事業概要	中学校において佐渡の自然、歴史、文化を学ぶ佐渡学や職場体験学習を実施する。特にトキ、金銀山、佐渡おけさ学習に重点を置き、学校ごとに特色あるテーマを設定し、地域人材を活用して、地域に根ざした教育を推進する。また、キャリア教育の更なる醸成を図るため、キャリア教育について共通理解を深める。 佐渡学実施校 中学校全校 佐渡おけさ 講師派遣、太鼓体験学習の実施 拠点5校で「職場体験のためのビジネスマナー研修会」の実施 校外学習や職場体験等のため、バス借上げや運転業務の委託							
対象	生徒							
意図(対象をどのようにしたいか)	郷土愛の醸成と職業観の育成という佐渡市のキャリア教育を推進していくことで、佐渡を愛し、佐渡に誇りを持ち、佐渡に貢献しようとする子どもの育成を目指す。							

**Do**

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	総合学習支援事業講師数	人	155	150	340	150	150	150
算式	-							
	職場体験者数	人	-	400	333	400	400	400
算式	-							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名			H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性		重点細事業	
	指標	目標(成果)指標名	単位	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性			
1	学校教育支援事業			3,493	3,773		3,365	予算	維持	○	
	指標	講師数	人	155	150	340	150	事業	維持		
2	佐渡おけさ学習			175	163		156	予算	維持		
	指標	実施校数	校	10	10	8	10	事業	維持		
3	太鼓体験学習			76	166		240	予算	維持		
	指標	体験人数	人	63	100	127	150	事業	維持		
4	キャリア教育推進事業			-	214		3,717	予算	維持	◎	
	指標	職場体験者数	人	-	400	333	400	事業	維持		
5	佐渡金山入館料補助事業			-	23		135	予算	維持		
	指標	入館者数	人	-	450	52	300	事業	維持		
事業費の合計(千円)				3,744	4,339		7,613				
財源内訳				国庫支出金	0	0		0			
				県支出金	0	0		0			
				地方債	1,800	1,300		1,300			
				その他	0	0		0			
				一般財源	1,944	3,039		6,313			

**Check**

◆事務事業を構成する細事業の評価◆

A : 適正である B : 検討の余地あり C : 見直しすべき

枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	学校教育支援事業	B	A	A	指導要領の改訂により総合的な学習の時間が少なくなり、授業時間の確保が難しい。
2	佐渡おけさ学習	B	B	A	特になし
3	太鼓体験学習	B	B	A	特になし

4	キャリア教育推進事業	B	A	A	職場体験をスムーズに行うための企業との調整。キャリア教育担当教育指導主事の配置。
5	佐渡金山入館料補助事業	B	A	A	体験時間の確保。

**Action** ◆今後の事務事業の方向性◆

評価(担当課長)	事業の方向性	維持	予算の方向性	維持
<b>事業の方向性</b> (事業全体の課題や改善方策など)	キャリア教育を浸透させ、その効果が現れるには年数がかかる。佐渡市教育委員会独自のキャリア教育プログラムを整備し、教職員の異動にかかわらず、推進の方向を統一させていく。			